

ほけんだより 2月

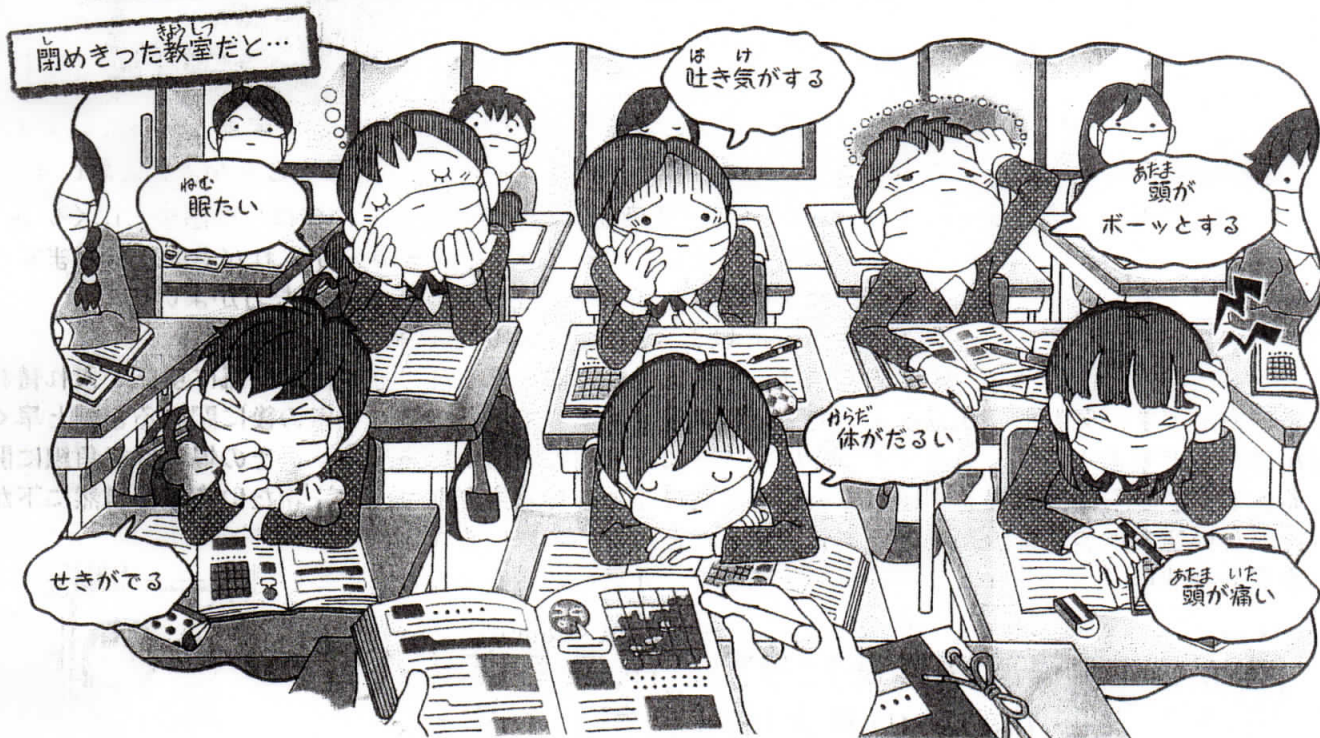
江南市立
古知野北小学校

R3. 2. 9

2月に入り立春も過ぎたところですが、まだまだ寒い日が続きます。時折、雪が舞う日もありますね。例年のこの時期は、インフルエンザの流行により、早退者や欠席者が多い日が続くのですが、今年度は今のところ、本校ではインフルエンザは1人もありません。このことについてはたいへんよいのですが、この1年は、今までとは違う「コロナ」を意識しての生活の年となりました。春は近くまできています。いろいろな意味での、明るい春が早く訪れることを願うばかりです。「♪春よこい、早くこい・・・♪」



毎ほうかはあたりまえ、授業中も1回は行くとよいこと…これな～に？



1月の終わりに1週間、保健委員会により「コロナに負けないぞ！キャンペーン〈その2〉」を行いました。換気の実験の様子を動画にまとめて全校へ流したり、放課に換気や手洗いの呼びかけをしながら見回りをしたりしました。また、「ビンゴでかんき・全集中！」という右のようなプリントを、1クラス5枚（1日1枚）配付し、正しい換気をしたら該当のマスをつぶして、合計いくつビンゴができるかをクラス対抗で競う取組も行い、たいへん効果的でした。

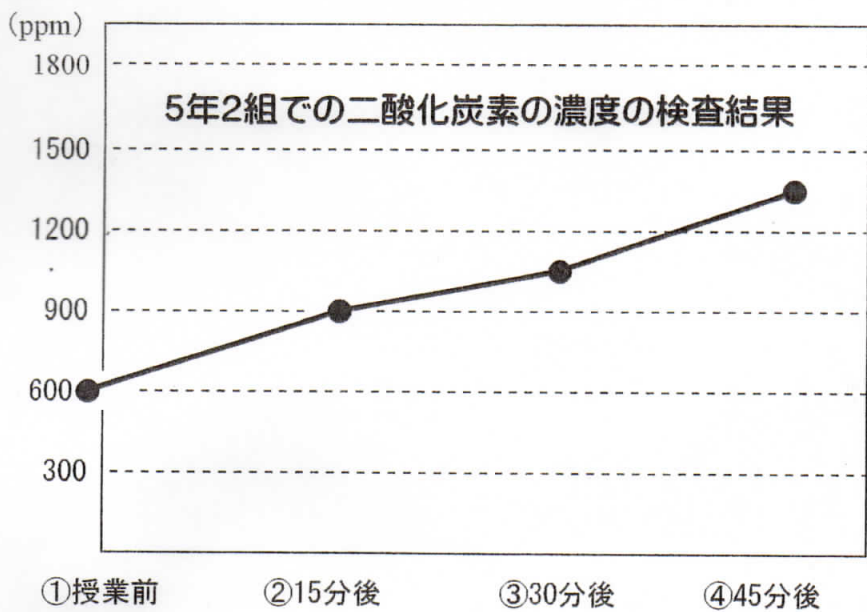
また、毎年この時期に学校薬剤師さんに来ていただき、教室の空気の検査を行っています。今年も1月27日に5年2組で行いました。空気の汚れの目安となる、二酸化炭素の濃度を調べる検

ビンゴでかんき・全集中！

1月25日(月) _____年____組

どこかのじゅぎょうちゅうに1かいかんきをした(A)	あさ、かんきをした	3じかんめの5ふんほうかにかんきをした
ちようほうかにかんきをした	Free	Aとはちがうじゅぎょうちゅうに1かいかんきをした
1じかんめの5ふんほうかにかんきをした	そうじ中にかんきをした	ひるほうかにかんきをした

査です。検査の方法は、授業前の放課に換気をして検査①⇒授業開始と同時にすべての窓、扉を閉める⇒15分後検査②⇒30分後検査③⇒45分後（授業終了時）検査④と、合計4回の検査を行いました。結果は下の通りでした。1時間の授業の間に、どんどん二酸化炭素の濃度が高くなることがわかりました。



二酸化炭素の濃度の検査結果

- (外 ... 400ppm)
- ①授業前 ... 600ppm
 - ②15分後 ... 900ppm
 - ③30分後 ... 1100ppm
 - ④45分後 ... 1300ppm



薬剤師さんの
コメント



教室の二酸化炭素の濃度の基準は、1500 ppm 未満となっています。でも今はコロナのこともありますので、次のような目安がよいと思います。

- ☆800 ppm 未満⇒感染症（インフルエンザや結核）に感染しにくい値
- ※現在まだコロナのデータはありませんがこれが参考になります。
- ☆800～1000 ppm ⇒そろそろ換気を意識した方がよい値
- ☆1000 ppm 以上⇒換気をしないと心配な値

換気の方法は、一度に全部の窓や扉を開けるのは、一気に空気が入れ替わりよい方法ですが気温も下がります。でも、床や壁が暖まっているので、換気後に閉めると割と早く暖かさがもどります。また、少しずつ開けたままにしておくのもよい方法です。その場合は対角線に開けるとよく、さらに高低差を利用して対角線にあけるとなお効果があります。冷たい空気は自然に下がり、暖かい空気は自然に上がる対流を利用することもよいと思います。

換気や手洗いをしっかりとし、病気を予防して、元気に過ごしてくださいね。

おもてめん まいほう か まえ じゅぎょう ちゅう かい
表面の、「毎放課はあたり前、授業中にも1回
おこな こと かん き
行くとよいもの」の答えは「換気」ですね。



1月のピツカリン賞（手洗いかんごパーフェクト）の人数を報告します。1年生46人、2年生58人、3年生66人、4年生59人、5年生58人、6年生54人でした。今までで最も多い人数となり、全体で72%でした。緊急事態宣言も延長され、まだまだ寒い日が続きますが、ぜひパプリカであらいをつづけてね。

